

ROHTO Smile Action Report

Vol.1 2022.4～9

人生は、真っ白なキャンバスだ。

そのキャンバスを、小さな Smile を散りばめて、色とりどりに埋めていきたい。

あなたとともに過ごした時間と

あなたの小さな笑顔を私たちは忘れない。

その笑顔をもっともっとみなさんに知っていただき、もっともっと笑顔の環を拡げていきたい。

ロート製薬は、あなたの思いといっしょにアクションし、

あなたといっしょに Well-being の環を拡げていきたい。

明日も、ミライも、これからも、

私たちや、子どもたちのミライのために。

そんな思いで、このレポートをお届けします。

次世代支援に関する取り組み

取り組む課題：子どもの学びと成長に対しサイエンスを起点に応援



■小学生向けプログラム ロートサイエンスキッズ

【テーマ】

サイエンスとの出会いと共に挑戦する力を引き出し、今までに見たことのない「目の輝き」を！

【想い】

ライフサイエンスに関わる企業でサイエンス領域の最前線で働く研究開発の社員を中心に、子どもの科学離れを少しでも解消できないかと考え、「子どもたちサイエンスの楽しさ、面白さを伝えたい！」そして、「子どもたちが新たな発見をしたときに見せるひとりひとりの『目の輝き』を引き出したい！」という想いからプロジェクトを発足し、サイエンスを意識し始める時期の小学生を対象としたプログラム開発に至りました。

今後ますます進化するテクノロジーへの対応と共に、子どもたち自らが課題を発見・設定し、チャレンジする力を身につける一助となり、ゆくゆくはサイエンス分野をリードする次世代の育成に貢献できるようプログラムを進化させていきたいと考えています。

【概要】

子どもたちの身近にある、ふとした疑問を社員から募集するところからスタートしました。それらの疑問に対し、研究開発の社員たちが何度も実験を繰り返し、自宅で実験できるよう検証。YouTube 動画に社員自らが出演し制作を進め、HP と併せて公開しています。現時点で 9 テーマ掲載しており、今後追加していく予定です。子どもたちが実際に自宅で実験できるように工夫していますので、実験そのものを楽しむことはもちろん、新しい発見やさらなる疑問がわくような仕掛けを作っています。

また、リアルイベントを複数開催。研究開発の社員を中心に、サイエンスのおもしろさと奥深さを体験する場を設けました。夏休みの自由研究に活用するもよし、友達と一緒に取り組むもよし、日常のふとした疑問をどうやったら確かめられるかを自ら考え試すことができる、そんな子どもたちが増えていくようなプログラムを引き続き開発していきます。



動画の一コマ 研究員も本気で楽しむ様子



イベント参加した笑顔溢れる子どもたち



リアルイベントでクイズを真剣に解く子どもたち

【プログラム参加者の声】

- ・学校で習ったことを元に予想してみたけど、実験すると違ってびっくりした。（動画視聴者からの声）
- ・みんなで実験できておもしろかった、実験結果の理由がわかってよかった。（小学生／イベント参加者の声）
- ・子どもの学年によって、それぞれが興味を持ってそれぞれに吸収するものがあったようです。ただ楽しいだけじゃない、気づきや学びが得られるのがいいと思いました。（小学生保護者／イベント参加者の声）

【活動記録】

2022 年 6 月 ロートサイエンスキッズ始動、YouTube 動画公開、HP 公開

2022 年 6 月 「キッズニア甲子園」イベント開催

2022 年 8 月 「ココロートパーク」会員様限定イベント開催

【関連 URL】<https://www.rohto.co.jp/csr/society/education/rohtosciencekids/>

リリース： https://www.rohto.co.jp/news/release/2022/0610_03/

YouTube チャンネル： <https://www.youtube.com/playlist?list=PLIYgb9x1rA-hPaA3b8P05TOnKfnAkRPGS>

キッザニア甲子園イベントレポート： <https://coco.rohto.com/article/kiji/eyecare/1710/>

ココロートパーク会員さまむけイベントレポート <https://coco.rohto.com/article/kiji/report/3159/>

取り組む課題：子どもたちのキャリア開発支援

■ 関西科学塾コラボ ロート研究所ツアー

【テーマ】

関西科学塾在籍のリケジョ中高生がロート研究所を体験！

【想い】

企業の研究職として社会と関わることの魅力を伝えたいと考えたことからスタートしたプログラム。

ロートでやっている研究を知ることはもちろん、実際ロートで働く研究員と触れる機会をすることで、将来を考えるきっかけを作れたらと考えています。

今回のイベントには 25 名募集のところ 300 名以上の応募がありました。多くの中高生に興味をもていただけた嬉しさと同時に、企業としてこのような機会を創る重要性を感じました。

【概要】

2022 年 7 月に、ロートの研究所に女子中高生をお呼びし、25 名限定の体験イベントを実施しました。

当日は、「日やけ止め」、「スキンケア」、「検査薬」の 3 つの研究内容を体験でき、研究室で働く研究員から和やかな雰囲気とともに詳しい説明がありました。顕微鏡で細胞を観察したり、実物の検査薬を試して仕組みを学んだり、普段はなかなか目にしない実験器具や製品を使いながら、ロートの研究内容に触れてもらいました。

イベント時間内で学生同士が友達になったり、研究員と将来の相談ができたりと貴重な一日になりました。



様々な商品があります



検査薬での検査を体験



肌の細胞を観察

【参加者の声】

「専門的な内容もありましたが、説明がわかりやすく、明るい雰囲気を楽しめました！」

「進路選択の参考になりました！」など

【関連 URL】

<http://www.kansai-kj.org/pdf/2022Bnewsletter.pdf>

取り組む課題：子どもたちのキャリア開発支援

■高校生インターンシップ with アツテミー

【テーマ】

高校生が企業でチャレンジできるチャンス。ロート製薬の様々なフィールドを使って、自身が持ち込んだテーマを深掘りし、社会実装に近づける1週間。

【想い】

高校生のチャレンジを応援したい！と考え、インターンシップの形で叶えられないかと検討しました。

社会課題解決型の取り組みを通して、高校生とロートメンバーが互いに刺激し合い、そして共に明日をつくっていけるチャレンジにつなげていきたいと考えています。

【概要】

2022年8月に実施した5日間のインターンシッププログラム。

全国から82名の事前説明会参加、22人のエントリーがありました。選考された4人の高校生は、それぞれ自身がロートとやってみたい取組・テーマを携えてやってきました。ロートとしてもはじめてとなる高校生インターン受け入れとなりました。

<メンバー>

高校2年 Aさん 高齢者の熱中症問題を解決したい！

高校3年 Bさん バイオ炭普及を目指して

高校2年 Cさん 社会貢献、ENTREPRENEURSHIP

高校3年 Dさん 環境に配慮した商品で中高生に使ってもらうには？

高校生たちは、自身のテーマと関連する部門やメンバーにアポイントを取り、実務上どうやっているのかヒアリングしたり、いっしょに仮説を検証していきました。中には、研究所に入り込んだり、石垣島で農業をやっているメンバーや社内を飛び出して神戸市西区で有機農業をやっているみなさんとディスカッションしたり、大学の先生に話を聞きに行ったり、それぞれのテーマを深掘りしていきました。

1週間の締めくくりとして、最終発表会を開催。たくさんの社員が注目する中、4人は発表を行いました。高校生とは思えない内容とプレゼンテーションに、ロート社員も多くの気づきがありました。ロートの中で学んでいただくつもりが、様々な刺激を受け合い、互いに学ぶことがたくさんありました。

ともに明日をつくっていけるようなチャレンジを応援していける機会となりました。



社員とのディスカッション



高校生、熱く語る



最終発表会後に記念写真

【関連 URL】

<https://atteme.com/rohto-internship/>

取り組む課題：スポーツで子どもたちの夢を応援



■セノビック×村上恭和 夢卓球教室

【テーマ】

元オリンピック監督とプロ選手が子どもたちを直接指導！

【想い】

夢・卓球教室はこれからも子どもたちの夢と健康な身体づくりを応援したいと考えています。これから未来のオリンピック選手が生まれることを楽しみにしています。

【概要】

東京オリンピックでの日本選手の金メダル獲得で卓球はさらに盛り上がっていますが、2018 年よりロンドン・リオオリンピック卓球女子日本代表監督の村上恭和氏と一緒に夢卓球教室を開催しています。夢卓球教室は基本練習から始まり、レベルに合わせた練習方法や選手とのミニゲーム、質問コーナーがあります。質問コーナーではその場で実際にボールを打ちながら体験して解決していきます。

「どうやったら強くなれますか？」という質問に、村上監督は「毎日の練習や基本練習ももちろん大事。もっと大切なことは目標をもって練習すること、夢を持つこと。」と夢卓球教室にこめた思いをお伝えしています。

オリンピック選手やプロの選手に直接教えてもらえる機会はまだまだ少なく、たくさん吸収しようと練習をくり返し、1 日でこんなに変わるの！という子どもたちの可能性に驚かされます。教室の最後には、選手より当日の記念写真をプレゼントしています。



村上監督の話を真剣に聞く子どもたち



卓球プロ選手とラリー、村上監督から指導を受ける



【活動記録】

2022 年 10 月 10 日 大分県杵築市にて開催 78 名参加

2022 年 10 月 23 日 秋田県秋田市にて開催 86 名参加

※これまでに 22 都道府県で実施し、日本一周を目指して活動を続けています。

【関連 URL】

<https://kodomo-takkyu.com/>

取り組む課題：女性と次世代の健康応援



■第4期ウィメンズヘルスラボ（WHL 研究会）開催

【テーマ】

女性と次世代の健康応援のため、共に学び・考え・動き、未来を創る

【想い】

女性の美と健康をお届けする大切なパートナーであるドラッグストアなどお取引企業の皆様と、女性や次世代（子ども）の健康（ウェルビーイング）について学び、考え、新しいアクションを生み出したい、という思いで活動しています。

【概要】

社会の変化や最先端の学術知識・研究・知見を学び、業界の垣根を超えた多様な仲間と議論し、アクション（啓発や課題解決サービス他）につなげる研究会を2018年から主宰しています。2022年度もお取引企業13社から21名の女性幹部候補・リーダーなどの参加者を迎え、5か月間にわたり月1回程度、専門家の講演聴講やディスカッション、ワークショップ等の研究会を開催しました。

【参加者の声】

- ・視座を高めるには組織の壁を越えたコミュニケーションの場がとても有効だと身をもって実感した。
- ・WHLを通して新しいことに挑戦している皆さんの姿を見て、熱意をもってやり続けることと、仲間を増やすことが大切だと学んだ。

【活動記録】

- ・2022年6月 女性の健康とホルモンに関するご講演（産婦人科医）
- ・2022年7月 女性と次世代の健康を守る食生活、コロナ禍による変化に関するご講演（大学栄養学部准教授）
- ・2022年8月 フェムケア・フェムテックの潮流と「体・心・性」に関するご講演（雑誌社）
- ・2022年9月 女性の健康、女性特有の健康課題に関する施策について(行政)
- ・2022年10月 ご講演、対談、ワークショップ、他(一部抜粋)

若年女性の社会課題と支援事業の取り組み、国際社会の動き、和漢薬、ドラッグストアの「女性の健康」に関する取り組み 他

★女性・次世代の健康のために社会に向けて実行提案内容の議論と発表



第4期ウィメンズヘルスラボ最終回@名古屋にて

地域に関する取り組み

取り組む課題：地域の農業の担い手確保。食品ロス解決

■ 石垣市・

クラダシ様との包括連携協定締結・協働取組

【テーマ】

パートナーと農業の担い手不足、食品ロスの課題解決へ！

【想い】

私たちの身体は食べることによって健康な状態が保てているのに、食べるものが作られている生産現場の状況や課題を知らなさ過ぎています。本当は食べられるのに傷があるだけで捨てられてしまう食べ物や、出荷量の調整で市場に出ない食べ物がたくさんあること、生産してくれる農家の方たちが高齢化で跡継ぎがいないこと。このクラダシチャレンジで大学生が現場に入ること、頭ではわかっている食の課題をよりリアルに食の課題を感じてもらえるので、食の課題解決に繋がることを期待しています。

【概要】

2022 年 1 月、沖縄県石垣市×ロート製菓×クラダシの 3 者で「石垣市における SDGs の推進に係る食品ロス削減及び特産品の PR に向けた連携協定を締結しました。

2022 年 7 月、農業従事者が高齢化し減少する中、パイナップルの収穫作業ができずに未収穫のまま廃棄されている現状に対し、食品ロスなどの社会課題に関心を持つ学生が農家を訪れる社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」を実施しました。

全国から 8 名の大学生がやえやまファームを訪れ、約 1 週間のインターンシップに参加してもらいました。

パイナップルの収穫支援を通じて、離島ならではの地域課題や自然の尊さを学び、地元住民との交流で温かさに触れ、学生たちにとっては現地では体験できない貴重な機会になりました。

【参加者の声】

・クラダシチャレンジでは食品ロスだけではなく、地方の実情や自然の尊さを学ぶことができました。また、沖縄ならではの人のつながりを感じる場面も多かったです。出会いの数だけ学びがあり、帰宅してから考えさせられることまでありました。体力的にはつらい日もありましたが、すごく濃い 1 週間を過ごすことができました。

・夢のようにあっという間に終わってしまった！と感じています。普段の生活では味わうことができない刺激的すぎる日々で、涙、笑顔、涙といった非常に濃い毎日でした。そして、私にとっては本当に多くの素晴らしい方や仲間たちと時間をともにできたことが強く心に残っています。多くの素敵な方たちと出会って自分の考えや人生観が大きく変わった！そんなインターンシップでした。これからみなさんに今回の恩を返していけるように、人として成長していきたいと思います！



石垣市・ロート製菓・クラダシの連携協定調印式とクラダシチャレンジに参加した大学生たち@やえやまファーム崎枝農場

また、クラダシ様の仲介により、フードロス削減への取り組みとして社内にある期限切迫の防災備蓄品をフードバンク 7 団体に寄贈しました。こども食堂や困窮している方への支援として提供されています。



※提供元：フードバンクそお

【関連 URL】

<https://cdn.shopify.com/s/files/1/0599/1835/2533/files/challenge15.pdf?v=1666076402>

取り組む課題：マチの将来の交通ネットワーク確保に貢献

■謎解きチャレンジ“ロート博士の秘宝”in 生野区 with Osaka Metro

【テーマ】

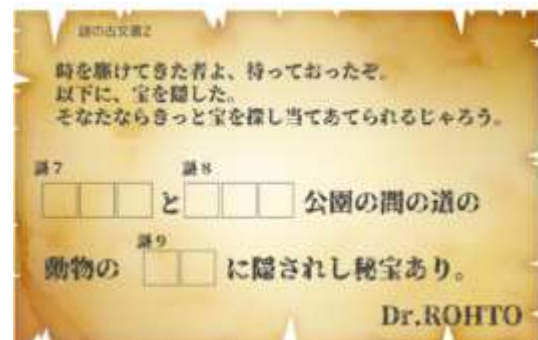
区民の足 Osaka Metro 様とタイアップし、マチに「？」を！

【想い】

大阪市生野区を含む市内 4 区 5 エリアで運行している“オンデマンドバス”の利用促進を図り、実験を成功に導き、マチの将来の交通ネットワークのラストワンマイルの足を確保したいと考えて企画しました

【概要】

2022 年 8 月に LINE アプリによる謎解き企画をリリースしました。シナリオ、謎、イラストはすべてロート社員が内製で、メンバーそれぞれの強みを持ちより自前で制作しました。Osaka Metro 様の協力を得ながら、最終目的地の生野区のロート製薬本社にオンデマンドバスに乗って訪問するシナリオで、生野区内を中心とした多くの皆様に楽しんでいただきました。



【参加者の声】

・よく練られた謎が多く、とても楽しかったです。無料とは思えないレベルでした。特にバスで乗客を乗せていく謎がとてつもないと思いました。同じ図で条件を変えて解きなおすすめ系の謎が好きなのと、テーマに沿ったオンデマンドバスを題材にしている点が好ましく感じました。

・ロートさんの本社に行くのも、Osaka Metro とうまくコラボしてるのも良かったです。ロート製薬が生野区にあるのも初めて知り、大阪市民として親近感がわきました。ラストの「健康」で企業理念を色濃く出してくるのも、好感を持ちました。

グローバルの取り組み

取り組む課題：世界中の人々の目の健康を守る

■Joy of Seeing プロジェクト



【テーマ】

アイケアリーディングカンパニーとして、世界中へ「見える喜び」を！

【想い】

海外のロートグループおよび関係会社と連携し、世界中で人々の目の健康を守るための活動として、Joy of Seeing (JoS、"見える喜び")プロジェクトを2022年6月に始動しました。

2022年は、主にアジア地域における子どもたちの近視を中心に啓発活動や無料眼科検診を行っています。近視は世界的に広がっており日本やアジアでは特に増加がみられ、深刻な健康問題となっています。2050年には世界人口の約半数が近視になると推定*されており、さらに、近視が強くなるほど、失明につながる病気発症の危険性が高まると言われています。昨今、屋内で過ごす時間が増え、デジタル機器への接触時間が増加するといったライフスタイルの変化もあり、これらも近視との関連性が指摘されています。次世代を担う子どもたちの目の健康を守るための知識向上や環境整備の必要性が日々高まっています。

将来的には対象地域を拡大し、多くの人々の「見える喜び」に貢献できるよう、グループ全体で取り組んでいきます。

*引用元: Holden BA, Fricke TR, Wilson DA, Jong M, Naidoo KS, Sankaridurg P, et al. Global Prevalence of Myopia and High Myopia and Temporal Trends from 2000 through 2050. *Ophthalmology*. 2016;123 (5) :1036-42



無料眼科検診の様子。



目の健康に関する啓発活動の様子。

【活動概要：2022年度のプロジェクト】

- ・主な活動内容：子どもの目の健康、近視に関する啓発活動および無料眼科検診など
- ・活動期間：2022年6月～12月
- ・対象地域：アジア（香港、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、ベトナム、日本）
- ・プロジェクト参画会社：メンソレータム社・アジアパシフィック（香港）、メンソレータム社・中国、メンソレータム社・台湾、メンソレータム社・韓国、ロート・メンソレータム社・タイ、メンソレータム社・マレーシア、ロート・メンソレータム・ベトナム社、ロート製薬株式会社（合計8社）

【関連 URL】

https://www.rohto.co.jp/news/release/2022/0610_02/

以下のページは、各自治体が主導する取組に、ロート製薬として連携・ご協力している取組です。

取り組む課題：子どもの目の健康維持

■愛知県大府市 子どもの近視予防プロジェクト

【テーマ】

大切な「目」について親子で興味を持ってもらうきっかけに！

【想い】

近年増加し、社会課題となっているこどもの近視。近視は進みすぎると失明にいたる眼疾患になる可能性が高まることから、生涯の「見える」を守るためには変化が起こり始める幼少期からの予防・対策が重要です。これまで目薬などを通してアイケアの研究を長年行ってきたロート製薬は、こどもの目の健康に関する啓発活動を行ってきました。そのなかで、「健康都市おおぶ」を掲げ主体的な健康づくりを推進している愛知県大府市の想いに共感し、名古屋大学、スギ薬局の皆さんと共に、子どもの近視予防のための取り組み支援や効果的な啓発活動を産学官連携でスタートしました。

【概要】

愛知県大府市、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学および株式会社スギ薬局と4者で行う、大府市内の小学生の近視啓発および予防の取り組み支援です。市内在住の小学1～3年生とその保護者から希望者を募り、2022年6月から開始。専門的な目の測定や講演会、SNSによる情報提供、セミナー開催、チェックシートを用いた取組支援など、「生涯の見える」を守るための生活習慣作りをサポートする活動を行いました。

【活動参画記録】

- ・2022年6月：事業説明会、眼科医・ORT（視能訓練士）による専門的な測定会
- ・2022年9月：ミニセミナー開催（テーマ：おやこで学ぼう デジタル機器との上手な付き合い方）
- ・プロジェクト専用LINEでの情報発信（大府市・名古屋大学・スギ薬局・ロート製薬がそれぞれ情報提供）
- ・スギ薬局店頭での啓発活動（スギ薬局店頭で、子どもの目に関する啓発ポスターを設置）



取り組みブック（一部抜粋）

【関連URL】

愛知県大府市 子どもの近視予防プロジェクト

<https://www.city.obu.aichi.jp/kenko/kenkozukuri/1023081/1023082/index.html>

取り組む課題：次世代の子どもたちの健康づくり

■埼玉県鴻巣市のみなさまと“こうのとりのお家 PJ”始動！

【テーマ】

鴻巣市の未来を支え、鴻巣市の市民全員が住みやすい社会をつくる

【想い】

ロート製薬の一社員の想いからスタートした取り組みです。

“自然豊かでのびのびと子育てできる 花のまち鴻巣”をスローガンに掲げる鴻巣市とロートが持つ知見を掛け合わせ、鴻巣市にお住まいの皆さんが健康で豊かな人生を歩むために、情報発信や学びの機会提供などの活動を行っていきます。

【概要】

2022 年 2 月 4 日、埼玉県鴻巣市と包括連携協定を締結し、地域のみなさまや次世代を担う子どもたちの健康づくりに貢献していくことを目的に活動を行っています。今年度の目標として、まずは鴻巣市民、市役所、高校生への学びの場を提供していくことを掲げています。



鴻巣市役所職員の方を対象とした、ライフデザインセミナーの様子

【参加者の声】

- ・企業との協力で、市だけでは届けることができない人や場所に届けることができました。
- ・妊活を始めたものの基礎知識がなかったので、とても勉強になりました。
- ・何から手をつけてよいかわからなかったので大変ためになりました。食事、運動、タイミングなど、できることをやってみます。
- ・女性の身体や妊活のことを全然知らなかったので参加してよかった。

【活動記録】

- ・2022 年 7 月、8 月 女性の健康セミナー 妊活を考えている方向けに、パートナーと一緒に参加できるセミナーを開催（合計 17 名参加）
- ・2022 年 9 月 鴻巣市役所で市役所職員の方を対象に、ライフデザインを考えるセミナーを開催

【関連 URL】

https://www.rohto.co.jp/news/release/2022/0204_01/

以下は、当社が関わるみちのく未来基金が主催するイベントのご紹介です。

取り組む課題：震災遺児に進学のを！

■みちのく未来基金交流イベント～VSpark 東京・仙台交流イベント・夏の集い 2022～

【テーマ】

みちのく生同士の繋がりを生む機会の創出

【概要】

■「VSpark」という、スポーツと VR を掛け合わせたバラエティ体験施設で交流会を行いました。

イベントは、埼玉と仙台的 2 会場で行われ、参加者（埼玉：21 名、仙台 9 名）が様々なアトラクションで遊びながら交流を図っていました。最初は初対面の方も多く、物々しい雰囲気でしたが、終わってみると初めて会ったとは思えない程、仲良く会話をする様子が垣間見ることができました。



VSpark 設置のアトラクションやゲームで遊ぶ様子

■夏の集い 2022 3 年ぶりに宿泊ありで、夏の思い出作りをメインとしたイベントを実施しました。（2022/8/18・19）

2019 年以降実施できていなかった「夏の集い」を、3 年ぶりに実施しました。当初開催しても人が集まらない可能性がある中での募集となりましたが、結果的には予想を上回る 18 名の参加となり、大いに盛り上がるイベントとなりました。

夏の集いでは、BBQ や花火など夏の思い出作りをテーマにしながら、みちのく生同士の繋がりを作ってもらう機会になればと思い実施しました。2 日目のプログラムでは、牧場に足を運びアイスクリーム作りを行いました。

【関連 URL】<http://michinoku-mirai.org/>



アイスクリームができる様子を
皆さん興味津々な表情でした！